

12月定例会号

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の第2土曜日に年4回の定例会号、1月1日に新年号を発行（新聞折り込み）しています。
今回の市川市議会は2月定例会が開かれる予定です（定例会の開会予定日は6面に掲載）。

いちかわ

市議会だより

2013年（平成25年）第205号

2月9日（土）

発行 市川市議会
編集 議会運営委員会
市川市八幡1-1-1 ☎334-1111
http://www.city.ichikawa.lg.jp/cou01/154100002.html

12月定例会

一般職員給与条例の一部改正案を可決

補正予算は21億2千万円規模



補正予算で増額等の対象となった事業から
（左上）市川市霊園（右上）市川大野駅周辺（市道0128号）（左下）LED防犯灯（右下）史跡曾谷貝塚

市議会は、平成24年12月定例会を11月30日から12月12日まで開催しました。

12月定例会では、市長から、市川市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部改正、市川市一般職員の給与に関する条例の一部改正、防犯灯設置費等補助金や介護給付費等、塩浜護岸施設災害復旧工事費など約21億1989万円を補正する平成24年度市川市一般会計補正予算（第3号）、その他、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（第1次・第2次一括法）に関する条例の制定又は一部改正案などの議案29件と報告6件が提出されました。また、議員からは、市川市議会会議規則の一部改正、建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を求める意見書案などの発議6件が提出されました。その他、請願の審議、23人の議員による一般質問を行いました。

市川市議会会議規則の一部改正案を可決

市議会は、平成24年の地方自治法の一部を改正する法律の施行を受け、本会議での公聴会及び参考人に関する規定を追加するほか、法改正に伴う条文の整理を行う市川市議会会議規則の一部改正案を議決し、これを全会一致で可決しました。

本会議での採決の結果、市長提出議案の29件を原案通り可決した他、議員提出の市川市議会会議規則の一部改正案及び意見書案5件を可決しました。また、請願2件を採択、1件を不採択しました。（一般質問は2〜4面、審議結果一覧は6面に掲載）。

◆主な議案

○市川市一般職員の給与に関する条例の一部改正について
職員の給与水準の適正化を図るため、平成25年1月1日に行う一般職の職員（医師、歯科医師を除く。）の昇給の抑制に関する特例（一律2号給を抑制）を定めるものです。

【主な質疑】

「本市職員の給与水準は、ラスパイレ指数103.8であり、各種手当を含めた職員への総額支給額は、実質、全国で6位との事実がある。このことも含め、職員の給与水準について、どこが適正と考えているのか。」との質疑に対し、「給与水準の比較方法としては、国を100とするラスパイレ方式がある。給与の体系は、給料と手当の2層構造となっているが、本市では近隣他市よりも地域手当が低く設定されている現状である。そこで今回は当面の措置としてラスパイレ指数102を目標としたものである。」との答弁がなされました。

また、「地方公務員法第24条第3項には、最初に『生計費』云々とあり、ラスパイレ指数のみでは計れないと思う。2号給の昇給抑制は、特に若年層への影響が大きいが、その点の配慮を含め、『生計費』についてどのように認識しているのか。」との質疑に対し、「当初、昇給抑制は4号給で提案したが、職員組合との協議の中で、特に若年層への影響が大きいということで、2号給の昇給抑制としたことから配慮はしている。また、『生計費』については、本市のラスパイレ指数は103.8で国を上回っていることから、水準を満たしていると認識している。」との答弁がなされました。

○市川市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部改正について
墓地等とその周辺の生活環境との調和を図るため、2千㎡以上の墓地に係る基準について、住宅等から墓地までの距離を100m以上とする他、墓地の敷地の有効利用を図るため、墳墓1区画当たりの面積を1.5㎡以上から1㎡以上とするなど、墓地等の経営の許可等の基準を見直すものです。

○市川市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定についてなど
平成23年に制定された、地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律（第1次・第2次一括法）により、これまで国が法令等で一律に決定して自治体に義務付けてきた基準等の一部を、市町村が自ら定めることができることとされたことから、関係する条例の制定あるいは一部改正を行うものです（5面に関係記事を掲載）。

○平成24年度市川市一般会計補正予算（第3号）

一般会計補正予算案は、防犯灯設置費等補助金、介護給付費等、返還墓地助成金、史跡曾谷貝塚用地購入費、市川大野駅周辺整備事業（繰越明許費補正）など21億1988万5千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ136億6517万3千円とするものです。

◆報告

12月定例会では、専決処分の承認を求める報告1件がなされ、議会はこれを承認しました。その他、専決処分の報告5件がなされました。